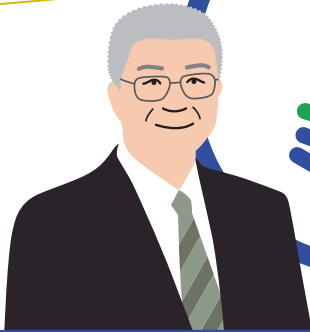


「地域」と「政策」

交互に開催!



タウンミーティング



市HPでも
開催状況を
ご覧いただけます

第4回開催レポート ～子育て支援について～



市民と市長の直接対話

第4回は「子育て支援」をテーマに、71名の市民が参加し、様々な意見が寄せられました。

公立保育園の現状と「少子化」の課題を共有

冒頭、担当課より保育を取り巻く現状が説明されました。出生数は平成19年の553人から令和6年には259人と約半数に減少し、これに伴い、公立保育園の定員充足率は令和8年度に46%まで低下する見込みで、1学年がわずか1〜2名、全園児でも10名未満

という小規模園の実態が示され、施設の老朽化や保育士確保の難しさと共に、「集団での育ち」の機会減少という課題が共有されました。

「保育園のあり方」に関する市民の声

市民からは、少人数保育の手厚さを評価する一方で、少人数ゆえの行事費などの保護者の負担増大を懸念する声や子育ての実情に寄り添った柔軟な環境整備についての意見がありました。また、ものづくりが盛んな地域を活かし、地元企業との連携して園の特色を出してほしいといった提案もありました。アンケート結果では、公立保育園の適正化において「同年齢の子供同士が共に学べる集団規模の確保」を重視する回答が最多となりました。

独自の子育て支援策と成果の共有

市が展開する「小中学校の給食費」「保育料」「18歳まで

の医療費窓口負担」の無償化など、県内トップクラスの経済的支援の概要が説明され、これらの成果として、0歳〜14歳の「こども世代」が転入超過に転じている実績が共有されました。

「支援の内容と持続可能性」に関する市民の声

参加者からは、これまでの施策への好評価の声やきめ細やかな情報発信、預かり保育等のサポートを求める声のほか、共助互助による子育て支援の提案もありました。また、財政面については「子どもにかかる予算は削らないでほしい」という意見がある一方で、「子育て支援に投じる多額の予算と、市の財政状況のバランスを注視すべき」といった、事業の持続可能性を問う意見も出されました。

市長は、「頂いたご意見は、政策を検討する上での貴重な材料とする。市民の皆様と共に、加賀市ならではの子育て環境を築いていきたい」と述べ、対話を締めくくりました。

次回以降のタウンミーティングの予定

政策

第6回

とき 5月19日(火) 19時～
ところ 市民会館大ホール
テーマ 加賀市の魅力の磨き上げ(予定)

政策

第7回

とき 6月30日(火) 19時～
ところ 市民会館大ホール
テーマ タウンミーティング総括(前半の振り返り)

●対象 …… 加賀市民(市内どちらにお住まいの人も参加できます)

●所要時間 …… 60分

※第5回のタウンミーティングは「地域(東和中学校区)」を対象として「東和中学校区/加賀市をよりよくするための市長への意見・提言」をテーマに開催されました。詳細は市HPで公開しています。